

管 区 事 務 所  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町65番  
電話 (03)5228-3171  
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE  
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku  
Tokyo 162-0805, Japan  
Tel. 81-3-5228-3171  
Fax. 81-3-5228-3175

2011年3月13日

日本聖公会 教会・礼拝堂・伝道所 御中

日本聖公会 主教会議長

首座主教 ナタナエル 植松 誠

### 東北地方太平洋沖地震に関するお願い

大齋節に入って間もない3月11日午後2時46分、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の大地震が発生し、それに続く津波、火災などにより広範囲にわたる地域で甚大な被害をもたらされています。またまったく予測範囲を超えた地震によって、福島第1原発で爆発があり、第1原発と第2原発周辺には避難指示が出されています。これらはテレビなどの映像によって、詳細に、繰り返し私たちの目に入ってきます。今、誰もが、今回の地震と津波、火災による被害の大きさに、信じられない思いで、言葉を失っていると思います。崩壊した家々、津波によって呑み込まれていく町々、消火できない状況の中で燃え続ける家々、そして、被災された方々。愛する家族を失ったり、その行方が不明で必死に探しまわっている方々、一瞬のうちに家、財産などすべてを失った方々の姿に、また津波で壊滅状態になった市街の光景に、私たちの心は張り裂けそうな思いです。

地震発生直後から、管区事務所では人々の安否や教会の被災状況などを把握すべく、東北教区や関係者と連絡を取ろうと努めましたが、電話もメールも繋がらず時間だけが過ぎていきました。昨日になって、少しずつ情報が入り始め、被災の状況などもわかってまいりました。東北教区の加藤博道主教や教務所とはまったく連絡が取れず、心配しておりましたが、昨日夕方、初めて加藤主教よりの連絡が入り、仙台市内の教会の様子を知ることができました。東北教区の諸教会の状況は、加藤主教もいまだに把握できていないとのこと。電気や電話がまだ復旧していない地域、津波によって大きな被害を受けた地域などでは、まったく連絡の仕様がいないとのことで、特に海辺にある磯山聖ヨハネ教会（福島県）と釜石神愛教会・釜石神愛幼児学園（岩手県）については、津波の被害が大変心配されています。また、信徒の方々の安否は、司牧の教役者によって、現在懸命に調査されているところです。交通網も各地でずたずたに寸断されたままで、東北教区としてまとまった対応がまだできる状況にはありません。仙台基督教会(主教座聖堂)はかなりの損傷を受け、余震が頻発する今日は、会館で大齋節第1主日の聖餐式をおささげしたとのこと。北関東教区（特に茨城県内の諸教会）でもいくつかの教会が被害を受けているとの報告を受けています。

管区として、この未曾有の大震災への対応（救援・復旧のためのボランティア、復興募金など）をどのようにすべきか、早急にその態勢を整えてまいります。また、教会（建物、人々）の被災状況や復旧状況などを、今後敏速に各教区にお知らせできるようにいたします。

今、私たちにできる最大のことは、祈ることです。祈りには力があります。被災者のため、亡くなられた方々のため、そのご家族のため、救援活動に携わる方々のため、また特に、東北教区・北関東教区の聖職・信徒の皆様のための祈りを、この大齋節の日毎の祈りとしておささげくださいますようお願いいたします。カンタベリー大主教を始め、世界中の教会から祈りによるご支援が今日本聖公会に届いています。

在 主